

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西浅田共同住宅 新築工事	階数	地上10F
建設地	静岡県浜松市中区西浅田二丁目81	構造	RC造
用途地域	都市計画区域市内街化区域	平均居住人員	65 人
地域区分	6地域	年間使用時間	20,440 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年5月 予定	評価の実施日	2023年3月9日
敷地面積	1,004 m ²	作成者	早野 真介
建築面積	310 m ²	確認日	
延床面積	2,109 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 これは、CASBEE静岡2021(Ver1.0 SDGs評価なし)による評価である。		その他 特になし
Q1 室内環境 住宅部分の昼光率1.30%を確保し、上階バルコニー(庇の代用)やカーテンを用いることにより、室内において昼光を制御しやすとした。 また、タイル貼の耐用年数は40年	Q2 サービス性能 階高は住戸部分2.96m、事務所部分3.36mとし、階高に余裕をもたせた。	Q3 室外環境(敷地内) 景観条例に適合させ、周囲と調和するように配慮した。 また、敷地の51.7%を空地とし、風の通り道を確保した。
LR1 エネルギー 建築物省エネ法におけるBEI=0.90とし一次エネルギーの消費を抑えた。 また、各階EPSに、各住戸の電力量計がある。	LR2 資源・マテリアル 節水の為、建築物内の便器は超節水型便器を採用した。 また、躯体以外の材料に、特定調達品目を5品目使用している。	LR3 敷地外環境 隣等間隔指数0.42を確保し、夏季に敷地内を通る風が回復しやすいようにした。 ゴミストッカー等を使い、ゴミの多量分別が可能なスペース及び回収BOXを計画し、ゴミが減量されるよう計画した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	西浅田共同住宅 新築工事	BEE	0.9	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.2	/5		ふつつ	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0	/5		ふつつ	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5	/5		がんばろう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.4	/5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	3.2
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ③住宅部分の昼光率1.30%を確保し、上階バルコニー(庇の代用)やカーテンを用いることにより、室内において昼光を制御しやすした。 ④タイル貼の耐用年数は40年 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑥敷地の51.7%を空き地とし、風の通り道を確保した。 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑨建築物省エネ法におけるBEI=0.90とし一次エネルギーの消費を抑えた。 ⑩各階EPSに、各住戸の電力量計がある。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪節水の為、建築物内の便器は超節水型便器を採用した。 ⑫躯体以外の材料に、特定調達品目を5品目使用している。 	Q-1 2 2.1 2.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制	
	LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 ⑫ 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒	
	LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善	
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	3.0
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑰電気設備・通信設備ともに、浸水する危険性がない。 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点	2.5
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑳階高は住戸部分2.96m、事務所部分3.36mとし、階高に余裕をもたせた。 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) <ul style="list-style-type: none"> ㉑1階共用部に防犯カメラを設置し、防犯性に配慮した。 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ㉑	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.4
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑵生物環境の保全と創出/⑶まちなみ・景観への配慮/④敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑶景観条例に適合させ、周囲と調和するように配慮した。 ④敷地の51.7%を空き地とし、風の通り道を確保した。 ■敷地外環境対策 (⑷持続可能な森林から産出された木材/⑸温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑸隣等間隔指数0.42を確保し、夏季に敷地内を通る風が回復しやすいようにした。 	Q-3 1 ⑵ 2 ⑶ 3 3.2 ④ LR-2 2 2.5 ⑷ LR-3 2 2.2 ⑸	⑵ 生物環境の保全と創出 ⑶ まちなみ景観への配慮 ④ 敷地内温熱環境の向上 ⑷ 持続可能な森林から産出された木材 ⑸ 温熱環境悪化の改善	